

# 子どもたちの歯を守るために

武雄・杵島地区歯科医師会く地域保健委員会 野田 正純

## がばい良い子の歯科教室

皆さんは6月4日が何の日か知っていますか？

そうです、むし歯予防デーです。そして、この後1週間が「歯の衛生週間」として、全国でいろいろな歯に関する催しが開催されます。

武雄・杵島地区歯科医師会では、平成20年度まで「良い歯のコンクール」を開催して、

きれいな歯をした子どもたちを表彰してきました。しかし、コンクール形式の催しが時代にそぐわなくなってきたため、

何か新しい催しを開催しようということと、昨年実験的に西川登小学校で歯科健康教室を開催しました。

低学年には、パネルを使って歯の構造やむし歯の成り立

ち等をやさしく説明し、ブラッシングの仕方を中心に、むし歯にならないためにはどうしたらいいかというようなお話をしました。

高学年には、口腔内カメラを使って実際に子どもたちの口の中を見てもらって、歯は

もちろんのこと唇や舌がどのような働きをしているのかをわかりやすく説明し、日頃なげなく物を食べたり飲んだりするのでどれだけ口の中の器官が重要な働きをしているのかを理科の授業風にお話しました。

今年はその第2回目を、6月11日(金)14時から若木小学校で開催させていただくことになっていきます。

興味のある方は、どうぞご参観ください。



▲平成21年度歯科健康教室(西川登小学校)

## 市内中学校でフッ化物洗口が始まります

皆さん、10年前までは佐賀県は子どものおむし歯が多い県で有名だった事を憶えていますか。平成13年までの10年間、3歳児のおむし歯保有率は全国ワースト1を続けていました。ところが、これではいけないと、行政、学校、歯科医師会等の努力で幼稚園、小学校でのフッ化物洗口に取り組んだところ、平成21年度の12歳児のDMF指数(むし歯の経験指数)で、3歳児の時に全国ワースト1だった子どもたちが九州で一番良い成績を収めました。

永久歯は、6歳頃から生え始めて中学時代で生え揃います。フッ化物は特に生え揃ったばかりの永久歯に良く効きます。せっかく小学生で効果が出ているのに、中学校でフッ化物洗口をしなければ、中学生になつてからむし歯が増えだす可能性もありますので、中学校までぜひフッ化物洗口を続けたいものです。

武雄市ではこれまで山内中学校だけで実施されていましたが、今年度は、全校での実施を目指していきます。

子どもたちの歯を守るために、皆様のご協力とご理解をよろしくお願いいたします。



▲野田先生